

モニタリング項目 No.19 2021年度調査結果

エコツーリズム戦略 9. 具体的方策	2019年度 (R1)			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
(1) 利用コントロール 自然環境の保全、観光客の安全確保、原始性の保持、付加価値の向上等の目的に応じた利用コントロールが実施されているか。	継 1999- 継 2011- 継 2011-	カムイワッカ地区マイカー規制の実施 知床五湖利用調整地区制度の運用 硫黄山登山道道路特例使用	P. 64, 78 P. 61, 78 P. 12	25日間 約7カ月間
(2) 守るべきルールの設定と指導 自然環境の保全、観光客の安全確保、地域の文化・生活への配慮等の目的に応じたルールが設定されているか。また、それらのルールの指導が行われているか。	継 1984- 継 継 継 新	知床岬の利用規制に関する申し合わせによる行政機関合同巡視 スノーモービル、航空機乗入れ規制の巡視・取締り カムイワッカ地区の監視員配置 管理機関による巡視 国立公園利用のあり方に関する行政間会議	P. 82 P. 81 P. 79 P. 9 P. 60	66日間 1837人日
(3) 情報の発信 地域主体のエコツアーの増加や守るべきルールの周知を目的とした情報発信が行われているか。	継 2017- 継 継 継 継	ヒグマ管理計画に基づく情報周知 Web やパンフレット等での普及啓発 利用施設等での情報提供、情報発信 携帯トイレの普及（リーフレットの作成） ヒグマ注意喚起メールの配信、チラシの作成及び新聞への折り込み カムイワッカ・シャトルバスに関するチラシの作成及び配布	P. 32, 75 P. 81 P. 81 P. 80 P. 32, 81 P. 78	
(4) ガイドの育成とガイドの利用推奨 ガイドの育成が行われ、ガイド利用が推奨されているか。	継/変 2008- 継 2010-	厳冬期の知床五湖エコツアー事業の実施 知床五湖利用調整地区制度による引率者の登録	P. 60, 62 P. 78	60日1917人
(5) 文化的資産等の活用 保全に留意しながら文化的資産等が活用されているか。	継 継 2014-	「しれとこ森づくりの道」の運用 赤岩地区昆布ツアーの実施	P. 50 P. 60	3回20人
(6) 利益の還元 観光利用によって得られた利益が地域の自然や社会に還元されているか。	継/変 2008- 継 2011- 継 2014- 継 2014-	自主除雪による厳冬期の知床五湖エコツアーの実施 知床五湖利用調整地区における住民還元キャンペーン ウトロ海域環境保全協議会によるハンドブック販売益の保全活動への還元 赤岩地区昆布ツアーの実施	P. 60, 62 P. 69 P. 60	60日1917人 3回20人

エコツーリズム戦略 9. 具体的方策	2019年度 (R1)			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
(7) 施設整備 年次計画による計画的な施設整備が行われているか。	継 2015- 継 2015- 継 2018- 継 2018- 継 2017- 継 継 新 2019-	知床自然センター改修事業 相泊地区治山工事（土砂崩落対策） 道道知床公園羅臼線防災・安全交付金事業（雪崩予防対策） 羅臼温泉園地事業 知床五湖地上遊歩道再整備に係る設計・調査 知床連山登山道保全管理 羅臼岳登山道保全管理 知床峠案内看板更新、ウェブカメラ設置	P. 18 P. 18 P. 18 P. 17 P. 27 P. 27 P. 17	
(8) モニタリング 観光客の評価（満足度や感想など）やニーズ、行動特性の変化等がモニタリングされているか。	継 継 2011- 継 2013- 継 2014- 新 2018- 継 2014- 継/変 2012- 継 2015-	知床世界自然遺産地域の利用状況調査 知床半島先端部地区利用状況調査 羅臼海域の利用適正化に向けた調査 五湖冬季適正利用調査 フレペの滝遊歩道植生調査 知床沼植生モニタリング 羅臼湖歩道植生モニタリング 登山道のし尿の状況調査	P. 52-68 P. 26 P. 69 P. 62 P. 13 P. P. 79	

凡例

新：新規の取組

継：継続的に実施されている取組

変：過去にも実施されているが、大きな変化があった取組